

【評価実施概要】

事業所番号	170200760		
法人名	医療法人社団 豊生会		
事業所名	グループホーム すぎの子		
所在地	札幌市東区東苗穂3条1丁目13-29 (電話)011-789-5177		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7		
訪問調査日	平成19年11月20日	評価確定日	平成20年1月8日

【情報提供票より】(H19年10月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12 年 5 月 1 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	22 人	常勤	17人, 非常勤 5人, 常勤換算 4.9人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建ての1~3階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,000~40000 円	その他の経費(月額)	18,000 円	
敷 金	有(102,000~120,000円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要(10月31日現在)

利用者人数	27 名	男性	8 名	女性	19 名	
要介護1	4	要介護2	10			
要介護3	5	要介護4	3			
要介護5	5	要支援2	0			
年齢	平均	84.5 歳	最低	68 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東苗穂病院・Doケア歯科クリニック・たんぼぼクリニック・荒井眼科
---------	----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

静かな住宅街に位置し、近隣には公園・商店・医療機関もあり、立地条件に恵まれた施設である。玄関前に掲示板を設置し、情報発信から利用者の作品発表の場と有意義に利用されている。各居室は広く、利用者が思い思いの生活を楽しんでいる。月1度のスタッフによる勉強会、外部研修は報告書を作成し、スタッフ全員で共有している。また自己学習計画を立て、個々のケアに対する質の向上に努め、スタッフ全員が利用者本位の支援をしている。家族の訪問も多く、暖かい雰囲気ของกลุ่มホームである。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回、外部評価での改善事項については、スタッフ全員で検討し、早急に取り組み、改善実施している。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	自己評価作成は、全職員で取り組み、問題点を明確にすることにより、更なるケアの質の向上に活かしている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	運営推進会議は、情報提供日までに7回開催されている。グループホームとは何か、介護の体験談、家族からの意見や要望等、色々な意見交換がされている。議事録も確かで、家族・職員全員に報告されている。また保健師による、運動能力チェックや検診結果の見方等も運営推進委員会に報告されている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	「すぎの子だより」を発行し、利用者の日常生活、行事の様子等、一人ひとりの日常の様子や健康状態を家族に報告している。現在、意見箱への苦情はないが、家族の訪問が多いので、その都度話す機会を持ち、運営に活かしている。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	毎年町内のジギスカンパーティー・夏祭りに参加。今年は伏古地区センターから文化祭への誘いがあり参加。昨年は、ホームが主催で開催した敬老会に、町内の方へ呼びかけをするなど、町内との交流に積極的に取り組んでいる。

評価結果（詳細）

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人とは別に、支えるケアの実践に向けたホームとしての独自の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	常に理念を念頭に、月一回の勉強会、カンファレンス、月二回のリーダー会議、日々の話し合いの場を設け、日々ケアに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	毎年町内のジンギスカンパーティー・夏祭りに参加している。昨年は町内の会館で敬老会を開催し、町内の方も参加した。また、地区の文化祭の案内が届く等、地域との交流が広がっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で質の向上に向け、問題点を明確にし、改善に繋げるように、自己評価に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、家族・町内会長（民生委員）・行政担当・管理者・職員が参加。グループホームの取り組みの報告、家族からの意見・要望を検討し、議事録で確実に全員に報告している。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>札幌市GH管理者連絡会議への参加。札幌市実践者研修、開設予定者研修等の実習受け入れや、介護労働安定センターからの研修、専門学校の実習生の受け入れを行っている。研修者を受け入れることで、良い刺激になり、意見交換の場にもなっている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>金銭管理は本部で行っている。ホームは「すぎの子だより」、運営推進会議の議事録の発表。家族の訪問が多いので、その都度日々の生活と変化を報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>フロアー・玄関の意見箱への苦情は出ていない。家族の面会時に、家族との会話や係わりの中から、職員間で話し合い、運営に反映している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>年に一度、一名程のフロアー間での異動があるが、利用者同士が他のユニットに行き来しても、馴染みの職員が居ることで安心している。家族へは、便りや来訪時に紹介している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月勉強会を行っている。研修は掲示板の他に、本部・管理者から参加を勧められる。また研修参加後は「職員研修報告書」を作成し、全職員が共有できるようになっている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>まだ始めたばかりだが、他のグループホームからの見学、他のグループホームへの見学を行い、交流を重ね、意見交換をし、サービスの質の向上を目指している。</p>		<p>グループホームの質・サービスの質の向上のために、継続的に他のグループホームとの交流が行われることを期待する。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前の見学や相談、担当者が面談に出向いたりを繰り返しながら、サービス開始へと繋ぐ。また、短期の利用も受けているため、そのまま入居することもある。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日々の会話、活動の中から利用者に応じた支援をしている。時間を共有することで、共に支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>昨年からセンター方式を採用し、情報収集し、利用者本位のきめ細やかなケアプランを立てることが出来、効果が出てきている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>月に一度の会議で、職員の意見交換やモニタリング、連絡ノートの活用、家族の思いや意見を聞き、介護計画に活かしている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>三ヶ月に一度の見直しを行っている。また、毎月のモニタリングで状態の変化や状況に応じて、検討、見直しを行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人・家族の状況に応じ、病院への送迎・受診の支援をしている。ショートステイの受け入れも行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>医療法人関連病院との連携のもとに、定期的な往診・受診を受けることが出来る体制が整えられている。また、常駐の看護師が相談、日常の健康管理を支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>現在までに、終末期の対象となる利用者はいないが、重度化に伴い、本人・家族の思いを聞き、ホームで対応できることは、家族・主治医と話し合いながら進めていく。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の人格を尊重し、この状態にあった言葉かけや対応を図り、個別ケアに取り組んでいる。個人情報については、厳重に管理している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の身体機能、日々の状況を把握し、個々のペースに合わせ、買い物や散歩等の支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と献立から買い物、下ごしらえ・盛り付け・片付け等を一緒に行う。利用者の健康状態に合わせた調理をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は一人ひとりの希望と、体調に合わせて支援している。同性介助が基本である。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の生活歴を知ることにより、得意分野で力が発揮できるように、日々支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	家族との外出や、個々の体調・希望に沿って、買い物、散歩やドライブと外出の機会を作っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠していない。フロア毎のドアには、チャイムやベルが鳴るよう工夫している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	緊急時対応マニュアルがあり、避難訓練も実施している。		近隣の協力を得た避難訓練の実施を期待する。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	毎日の食事量、水分摂取量等記録に残し、管理栄養士の指導を受けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居間には大きな窓から明るい光と、外からの景色が五感を刺激し、季節を意識することが出来る。フローアの飾りつけは、利用者・家族からの意見を取り入れている。		全体に整然さに欠け、フローアの一部では臭気が感じられたので、備品調度品の配置に工夫し、換気に配慮されたい。
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	個室はゆったりとし、利用者の好みや、使い慣れた物で、居心地よく安全に過ごせるよう配慮している。		

 は、重点項目。